

平成18年第3回宝塚市議会（定例会）一般質問一覧表

平成18年9月5日（火）～

質問順位	質問者
1	古谷 仁
2	野尻 俊明
3	小倉 実
4	井上 聖
5	坂下 賢治
6	菊川 美善
7	渡名喜 正勝
8	山根 泰
9	古田 時子
10	岡田 進
11	杉本 和子
12	江見 健太郎
13	寺本 早苗
14	松下 修治
15	多田 浩一郎
16	小山 哲史
17	井ノ上 均
18	近石 武夫
19	北山 照昭
20	北野 聡子
21	石倉 加代子
22	江原 和明
23	大島 淡紅子

(注) 表中、議員名下の () は質問形式

順位	議員名	件名
1	古谷 仁 (一問一答式)	<p>1 市長は、滞納問題について、市民の意見から何を学び、市政運営をどう進めるのか</p> <p>2 中央競馬会が道路占用する地下通路にかかる道路占用料の徴収を条例に違反して、放置していたことについて</p> <p>(1) 事実経過について</p> <p>(2) 2003年4月10日、占用許可申請を受付しながら、3年6カ月にわたり放置していた原因について</p> <p>(3) 1997年2月17日付、中央競馬会に提出している担当部管理職員の合意メモについて</p> <p>(4) 今後の方針について</p> <p>3 工事負担協定に基づく明和住研㈱よりの工事負担金が収入未済(総額4億7,381万円)になったことについて</p> <p>(1) その原因と説明責任について</p> <p>(2) その検証報告書について(2004年3月本会議答弁)</p> <p>4 公益通報制度について</p>
2	野尻 俊明 (従来式)	<p>1 教育行政</p> <p>(1) 小学校・中学校における国旗国歌の取組について 運動会・体育大会・入学式・卒業式等では</p> <p>(2) 知的障害がない自閉症(アスペルガー症候群)、特別支援教育等の取組について</p> <p>(3) のじぎく兵庫国体(第61回国民体育大会)の取組は</p> <p>2 福祉行政</p> <p>(1) 障害者自立支援法施行後5カ月になるがその取組状況について</p> <p>ア 宝塚市の独自の利用者の負担軽減について</p> <p>3 市民サービス行政</p> <p>(1) 職員提案制度の取組は</p>
3	小倉 実	1 子どもの安全のために(子どもの事故は半減できる)

	<p>(一問一答式)</p>	<p>(1) 埼玉県ふじみ野市のプール事故の検証</p> <p>ア 市内のプールは大丈夫か</p> <p>(2) この夏の水難事故の経過と対応</p> <p>ア 6月24日 橋谷池での小2児童の水死事故</p> <p>イ 7月11日 中山五月台幼稚園の池での幼児転落事故</p> <p>(3) 学校での事故の実態・収集・分析はなされているのか</p> <p>2 今後の観光行政を考える</p> <p>(1) 観光行政はイベント行事に追われている</p> <p>ア イベント推進を担う法人設立について</p> <p>(2) JR宝塚駅の橋上化に伴う駅前整備計画と宝塚の玄関にふさわしい都市景観のあり方</p> <p>(3) 六甲全山縦走大会（毎年11月に神戸市と市民団体が主催して開催）における観光行政から見た取組について</p>
<p>4</p>	<p>井上 聖 (一問一答式)</p>	<p>1 障害者自立支援法について</p> <p>(1) 地域生活支援事業について</p> <p>ア 相談支援事業</p> <p>イ コミュニケーション支援事業（手話通訳・要約筆記など）</p> <p>ウ 日常生活用具給付事業</p> <p>エ 移動支援事業（従来のガイドヘルプ事業）</p> <p>オ 地域活動支援センター機能強化事業</p> <p>カ その他の事業として身体障害者及び知的障害者のデイサービス事業</p> <p>(2) 地域自立支援協議会について</p> <p>ア 設置時期等について</p> <p>イ 構成メンバーについて</p> <p>(3) 当事者への説明や協議などについて</p> <p>2 宝塚市立病院について</p>

		<p>(1) 老朽化している施設・設備の改修について</p> <p>(2) 院内感染予防への取組について</p>
5	坂下賢治 (従来式)	<p>1 宝塚市立宝塚小学校の仮設教室について</p> <p>(1) 宝塚小学校の校区内でのマンション等の建設により仮設教室で対応するように聞いているが</p> <p>(2) 前市長が唱えた学校選択制は、学校改革審議会で時期尚早との結論。しかし、市の財政状況下、マンション建設ラッシュによる児童生徒の急増対策としてはプレハブの仮設教室に限界がある。学校選択制は、校区変更による柔軟な対応であるとの見方ができ、宝塚小学校について校区変更での過密解消対策はできないか。</p> <p>(3) 清荒神を宝塚小学校校区から切り離すなど、旧町名（川面でいえば「池田」「大道」といった）を取り入れることにより、その町の歴史が語り継がれていくと考える。旧町名による地域割りで校区のあり方を検討しては。</p> <p>(4) 1・2年生の35人学級が実施される。不足教室に備える仮設教室での対応校は。また、3・4年生の35人学級実施はいつ頃か。</p> <p>2 川面地域に猪が出没、市の対策は</p> <p>3 若者しごと倶楽部の設置について・</p> <p>4 宝塚アーバンサービス株式会社について</p> <p>(1) 業務内容について</p> <p>(2) 経営状況について</p> <p>(3) 宝塚市外郭団体経営等検討委員会の結果と今後について</p> <p>5 守秘義務違反について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方公務員法第6節に服務が規定されている <ul style="list-style-type: none"> ア 服務の根本基準 イ 服務の宣誓 ウ 法令等及び上司の職務上の命令に従う義務 エ 信用失墜行為の禁止 オ 秘密を守る義務 カ 職務に専念する義務

		<p>キ 政治的行為の制限</p> <p>(1) 市長の個人情報漏洩に関して</p> <p>ア 地方公務員法第6節の服務からいって違反ではないのか</p> <p>イ 違反者への調査を過去にしたことがあるのか</p>
6	菊川美善 (一問一答式)	<p>1 商店街への支援について</p> <p>(1) アピア西友撤退後の影響と対策について</p> <p>(2) まちづくり三法と今後の支援について</p> <p>(3) 地産地消の推進について具体的な計画は</p> <p>(4) アトム、火の鳥、歌劇等の知的財産を共有化できないか</p> <p>(5) 商店の廃業、異業種への転換等の相談窓口を設置しては</p> <p>(6) ホテル、JR宝塚、清荒神、あいあいパーク等へのミニ観光バスを走らせたらと考えるが</p> <p>2 市民会館（市民ホール）の建設について</p> <p>(1) 旧市民会館予定地（湯本町）の処分方法は決定したのか</p> <p>(2) 市民会館（市民ホール）の必要性について市長の見解は</p> <p>3 指定管理者制度導入後の評価について</p> <p>(1) 指定管理者制度導入後のメリット、デメリットについて</p> <p>(2) 指定管理者制度の今後の課題と対策について</p> <p>4 安倉校区の安全対策について</p> <p>(1) 安倉、ロックペイント横道路の拡幅について</p> <p>ア ヤマダ電機のオープン、また、チボリプール跡地のマンション群の校区は</p> <p>(2) 中国縦貫道、安倉北2丁目を歩道に出来ないか（フェンスを1m50cm後退し道路公団との交渉をお願いしたい）</p>
7	渡名喜正勝 (一問一答式)	<p>1 政治とカネについて</p> <p>(1) 阪上市長に関する政治資金収支報告書の不明解な点について、政治資金規正法違反ではないか</p> <p>2 高司5丁目（旧市営仁川住宅跡地）の売却について</p>

		<p>(1) 高層マンション建設計画が出されているが、周辺住民の要望を聞き、市としても積極的な対応を</p> <p>(2) 住民無視の開発を許した市の責任は</p> <p>3 第二名神高速道路計画の中止を</p> <p>(1) 計画の進捗状況は</p> <p>(2) 財政負担の額は</p> <p>4 子育て支援施策について</p> <p>(1) 保育所待機児の解消を</p> <p>(2) 市立保育所民営化計画の中止を</p> <p>(3) 子育て世帯の経済的負担の軽減を</p> <p>ア 乳幼児医療費助成制度の拡充を</p> <p>イ 保育料の引き下げ、減免制度の拡充を</p> <p>5 中小企業者への支援を</p> <p>(1) 小規模工事等希望者登録制度の創設を</p> <p>(2) 住宅リフォーム助成制度の創設を</p> <p>6 イオン伊丹西ショッピングセンターの計画について</p> <p>(1) 市内商店の営業と近隣市民の住環境を守るため、市としても積極的な対応を</p>
8	山根 泰 (一問一答式)	<p>1 21世紀を回復の世紀</p> <p>(1) 国際社会情報</p> <p>(2) 安全・安心のまちづくり</p> <p>ア 総合的防災対策の訓練の取組</p> <p>イ 犯罪を防止の具体策</p> <p>2 演習場周辺の経緯と役割</p> <p>(1) 演習場進入路の問題点</p> <p>(2) 開発申請時のチェック体制強化</p>

		<p>3 基地周辺整備費</p> <p>(1) 基地周辺の住民生活環境（騒音と周辺影響）</p> <p>(2) 基地周辺整備費 今後の課題（騒音地域の実態について）</p> <p>(3) 旧宝塚音楽学校の保存価値と整備費交付について（国庫金申請の判断基準）</p> <p>4 自衛隊演習場の存在感</p> <p>(1) 自衛隊長尾山演習場の歴史</p> <p>(2) 自衛隊長尾山演習場の今後の対応</p> <p>5 産業・家庭廃棄物の不法投棄</p> <p>(1) 資材置場の廃棄物放置について（市上水道、すみれガ丘加圧所周辺）</p> <p>(2) 資材置場の企業倒産（廃棄物の責任区分）</p>
9	古田時子 (一問一答式)	<p>1 チャイルドファースト（子ども優先）社会に</p> <p>(1) 地域児童育成会待機児童に安全な居場所を</p> <p>(2) 幼稚園における預かり保育の現況</p> <p>(3) 認定子ども園についての検討</p> <p>(4) 駅前保育ステーションのバス送迎ルート拡大</p> <p>2 健康で安心して暮らせるまちづくり</p> <p>(1) 市民病院をガン治療の先進病院に</p> <p>ア 緩和ケア科 新設の反響</p> <p>イ 放射線治療の導入</p> <p>(2) 助産師の活用</p> <p>ア 助産師の正常分娩でのかわり方</p> <p>イ 母子の健康維持のために</p> <p>(3) 予防重視の医療に ～メタボリック症候群の対応～</p> <p>(4) 食育運動の展開</p> <p>3 武田尾地域の水難防止について</p>

		<p>(1) 水難防止のための嵩上げ計画が撤回された理由は</p> <p>(2) 「武庫川流域委員会」の答申に対しての市の見解は</p>
10	岡田進 (従来式)	<p>1 阪神野外CSR施設整備事業について</p> <p>(1) 多目的広場の面積</p> <p>(2) 駐車場の面積</p> <p>2 末広中央公園（防災公園）</p> <p>(1) スポーツ施設として（多目的）使用できないか</p> <p>3 道路（生活道路について）</p> <p>(1) 清荒神参道（生活道路）インターロッキングに替わるものはないか</p> <p>(2) ノンスリップマスターについて、道路保全期間2年と聞いているが</p> <p>4 スポーツ施設について</p> <p>(1) 施設利用状況、使用料の収納状況</p> <p>(2) 各施設の整備について及び整備チェックはどのように（備品含む）</p> <p>(3) 特に屋内、屋外プールのマニュアルあるのか</p> <p>5 公共下水道について</p> <p>(1) 下水道法水洗工事を行うことが義務づけられているが</p> <p>ア 公共下水道供用区域でまだ工事ができていない箇所</p> <p>イ 私道等で工事がされていない箇所</p> <p>ウ 市街地の公共下水道供用開始97%と聞いているが</p> <p>エ 西谷地域では合併浄化槽70%と聞いているが</p> <p>オ まだ設置していない家庭の呼びかけは</p>
11	杉本和子 (一問一答式)	<p>1 文化財行政について</p> <p>(1) 市の文化財に対する考え</p> <p>(2) 教育での郷土史学習</p>

		<p>(3) 中山荘園古墳について</p> <p>ア 古墳のホームページについて イ 見学路について</p> <p>2 マンガと広報について</p> <p>(1) 宝塚マンガふえすたについて</p> <p>(2) マンガで知る行政について</p> <p>(3) 決算報告書の市民版について（宝塚の台所事情）</p>
1 2	江見 健太郎 (一問一答式)	<p>1 地方分権化社会における自治行政のあり方</p> <p>(1) 不正を生み出さない組織のあり方について</p> <p>(2) コンプライアンスマネージャー制度</p> <p>(3) 政策法務部局の創設</p> <p>(4) 監査機能の強化充実</p> <p>(5) 予算編成過程の透明化</p> <p>(6) 「新しい公共」の考え方について</p> <p>(7) ローカルマニフェストについて</p> <p>(8) 二元代表制における行政と議会</p> <p>(9) 議会基本条例と自治基本条例</p> <p>2 観光と芸術文化行政について</p> <p>(1) 音楽や漫画などの芸術文化を生かしたまちづくり</p> <p>(2) イベント行政について</p> <p>(3) 市民文化ホールの必要性について</p> <p>3 バリアフリーのシンボルとして、宝塚駅前にシンシア像を</p> <p>4 高司5丁目仁川住宅跡地における開発</p> <p>(1) 元・市営住宅跡地（高司5丁目76番1、77番5）売却の経緯について</p> <p>(2) 売却に際して「高司5丁目地区・地区計画」の存在を知っていたのか</p>

		(3) 平成19年3月の用途地域見直しにおける用途変更を認識していたのか
13	寺本早苗 (一問一答式)	<p>1 市立病院の医師不足への対策について</p> <p>(1) 産婦人科医、麻酔科医、小児科医の在籍状況は</p> <p>(2) 医師の安定的な確保に向けた取組は</p> <p>(3) 子どものいる医療スタッフが仕事を続けやすい環境づくりについて</p> <p>2 子ども政策の現状と課題について</p> <p>(1) 市立保育所の民営化</p> <p>(2) 育成会の時間延長</p> <p>(3) 「放課後子どもプラン」についての考え方</p> <p>(4) 「子ども（権利）条例」の目指すものについて</p> <p>(5) 「子ども審議会」の設置について</p> <p>3 性的マイノリティの人権について</p> <p>(1) 理解を深めるための取組について</p> <p>(2) 公文書の性別記載欄削除等の進捗状況について</p> <p>(3) 性同一性障害をもつ子どもへの対応について</p> <p>4 都市再生と観光・商業振興について</p> <p>5 情報政策について</p>
14	松下修治 (一問一答式)	<p>1 市民の税負担ガマン限界</p> <p>(1) 格差社会をどのように見ているのか</p> <p>(2) 税制改悪による市民への負担はどのようになっているのか</p> <p>ア 市民税増税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 控除額の廃止による影響人数と影響額 ・ 定率減税の縮小と廃止の影響人数と影響額 ・ 非課税措置の廃止による影響人数と影響額

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定資産税・都市計画税はどの様になっているのか <p>イ 介護保険料の値上げによる負担額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税制改悪による負担の影響額 <p>ウ 障害者自立支援法施行後の負担の影響額、負担増による利用減などの実態は</p> <p>エ 国民健康保険税2年連続実質値上げによる市民負担増は</p> <p>オ その他、保育所保育料や学童保育や福祉医療など諸制度への影響はどのようになっているのか</p> <p>カ 来年度以降の税制改悪で市民負担はどうなるのか（その内容）</p> <p>キ 市税・介護保険料・国保税・障害者自立支援法などに対し、住民負担は限りなく増大。国県への要望内容は、市独自の支援策をどのように取り組み、市民生活を守ろうとしているのか</p> <p>2 医療負担増はどのようになっているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に、高齢者負担増8月に1割から2割へ、10月には2割から3割へ、その対象人数と影響額は <p>3 武庫川ダムについて</p> <p>(1) 武庫川流域委員会の決定を尊重した姿勢を</p> <p>(2) 未改修区間の早期実施を</p> <p>(3) 武田尾地域の安全対策は</p>
15	多田浩一郎 (一問一答式)	<p>1 人員の適正配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 限られた財源と人員で最大の効果を発揮し結果を残すために、従前の判断にとらわれず最良の適材適所の人員配置を目指すべき <p>2 評価のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評価など学校教育行政における評価のあり方について現状を総括し、今後、いつまでに何を行うかを示すべき <p>3 監査結果後の当局の取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月の監査請求7月の監査結果報告書提出を受けて、監査結果報告書の監査委員会からの要望事項の達成に向けて、以後、当局は2カ月を経過しどう取り組んでいるのか
16	小山哲史 (従来式)	<p>1 宝塚再生計画を立てよう</p>

		<p>(1) 行政・政治の意識改革をはかろう</p> <p>ア 改革マニフェスト</p> <p>イ 庁内の改造 閉鎖性の排除 廊下の仕切り壁の撤去 部長室の仕切り壁の撤去 市長室はぜひ1階に</p> <p>ウ 改革提案・企画書への挑戦</p> <p>(2) 地域経済力を高める手立てを組もう 宝塚二元都市論再考</p> <p>ア 武庫川の水辺を生かそう</p> <p>イ 緑の回廊・山なみを生かす</p> <p>ウ 西谷地区をもっと活用しよう CSR・丸山湿原・少年自然の家の連携</p> <p>(3) 歴史的な掘り起こしを仕掛けよう</p> <p>ア 縄文から古墳時代への再整理</p> <p>イ 「たからづか歴史散歩」</p> <p>ウ 「宝の塚」への仕掛けを</p>
17	井ノ上 均 (一問一答式)	<p>1 新公園墓地整備事業について</p> <p>2 学校園の安全</p> <p>(1) 西谷地区遠隔地通学児童の安全</p> <p>(2) 保健衛生上の安全について</p> <p>ア 食の安全(水道水も含む)給食調理室</p> <p>(3) 遊び場、運動場、砂場</p> <p>(4) イベント時の安全</p> <p>3 ごみ不法投棄の実態</p> <p>(1) 農免道路沿道の福井興業の代執行</p> <p>(2) 通報システムの実態</p> <p>(3) 現状不法投棄の対応</p>

		<p>4 切畑交差点の改良工事について</p> <p>(1) 進捗状況 市道・県道の交差点</p> <p>5 農免道路の拡張について</p> <p>(1) 進捗状況</p> <p>(2) 用地買収、あるいは地図訂正問題点</p> <p>(3) 街路灯の設置が少ない</p> <p>6 県道（塩瀬宝塚線）境野地区拡張について</p> <p>(1) 進捗状況</p> <p>(2) 早期完成（歩道の完備）</p> <p>7 河川の草刈り及び浚渫管理について</p>
18	近石武夫 (一問一答式)	<p>1 行財政改革について</p> <p>(1) 都市経営改革行動計画の推進</p> <p>(2) 収入確保策</p> <p>2 介護保険制度について</p> <p>(1) 介護予防事業の状況</p> <p>(2) 地域密着型サービスの状況</p> <p>3 障害者自立支援法について</p> <p>(1) 利用者負担増についての軽減措置</p> <p>(2) 小規模作業所の継続</p> <p>(3) コミュニケーション支援事業の継続実施</p> <p>4 図書館、公民館について</p> <p>(1) 図書館の開館時間の延長</p> <p>(2) 図書整理期間の短縮</p> <p>(3) 東公民館情報図書室の利用状況</p> <p>(4) 東公民館1階の有効利用</p> <p>5 その他の行政課題</p>

		<p>(1) 阪急バス増便及び新設便について</p> <p>ア 休日、祝日の早朝便と深夜便の増便</p> <p>イ 阪急山本駅から中山桜台経由便の新設</p> <p>(2) 市道1047号線阪急山本変電所踏切の拡幅工事について</p> <p>(3) NEDO(技術開発機構)の省エネ補助事業の進捗状況について</p>
19	北山照昭 (従来式)	<p>1 中山五月台幼稚園観察池における事故について</p> <p>(1) 事故の概要と原因究明について</p> <p>(2) 過去の事故と対応について</p> <p>2 市営住宅の管理について</p> <p>(1) 家賃滞納実態と対応について</p> <p>(2) 共益費の滞納実態と市の対応について</p> <p>3 県道塩瀬宝塚線沿いの不法投棄ごみについて</p> <p>(1) 市民からの苦情、意見と対応について</p> <p>(2) 現状は大変危険で、見苦しいが、県、市の認識は</p> <p>(3) 国体もあり、緊急的な対応が必要ではないか</p> <p>4 六甲縦走路、ハイキングコースの整備について</p>
20	北野聡子 (一問一答式)	<p>1 教育環境整備について</p> <p>(1) 子どもたちに必要な人的支援</p> <p>2 子どもの食物アレルギーについて</p> <p>(1) 市としての現状把握と、総合的な対応組織の構築の進捗状況</p> <p>(2) 医療機関との連携</p> <p>3 メディア・リテラシー教育について</p> <p>(1) 携帯電話の使用状況</p> <p>(2) インターネット・トラブルの予防と対処</p> <p>(3) GPSの携帯端末で安全を守る取組</p>

		<p>4 社会教育について</p> <p>(1) 社会教育の意義と今後の方向性</p> <p>(2) 「地域学」としての「宝塚学」</p> <p>(3) 「宝塚大事典」の活用</p> <p>(4) 「宝塚検定」</p> <p>5 阪神福祉事業団について</p> <p>(1) 「ななくさ学園」の現状</p> <p>(2) 「新将来構想」</p>
2 1	石倉加代子 (一問一答式)	<p>1 災害時における情報伝達及び避難支援について</p> <p>(1) 情報伝達について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報車・安心メール・FM宝塚・ホームページ等 <p>(2) 要援護者の避難対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 避難情報や避難方法について イ 緊急告知FMラジオについて <p>2 市民にわかりやすい情報の公開について</p> <p>(1) 市民にどれだけ情報を提供していますか (協働のまちづくりの観点から)</p> <p>(2) 生活ガイドブック（日常生活に関係の深い市のサービスを中心にまとめた冊子）について</p> <p>3 学校・園及び地域における安全対策について</p> <p>(1) 安全対策の現状について</p> <p>(2) 不信を育てる防犯対策になっていないか</p> <p>(3) 「安全マップ」は充分活用されていますか</p>
2 2	江原和明 (一問一答式)	<p>1 入札・契約業務に関して</p> <p>(1) 随意契約における、見積もり合わせ2者以上の規定見直し</p> <p>(2) 部総務における単価契約業務のあり方の見直し</p> <p>(3) 長期継続契約及び入札を実施しづらい2～3月期における債務</p>

		<p>負担行為の見直し</p> <p>(4) 入札先進都市における最新事情について</p> <p>2 財団法人宝塚都市整備公社について</p> <p>(1) 新公園墓地の建設は、市長就任後正式なゴーサインは出したのか</p> <p>(2) 公社事業内容の市立小・中学校の校舎等の建設・貸付け及び譲渡の現状</p> <p>(3) 公社事業内容の自転車等駐車場及び返還所の建設及び管理運営の委託の現状</p> <p>(4) 昨年度の公社事業費の内訳</p> <p>(5) 市営斎場の建設</p> <p>3 道路行政に関連して</p> <p>(1) 伊丹市池尻に建設予定の大型S C計画についての交通予測</p> <p>(2) 都市再生機構仁川団地の建て替え等計画に関する周辺住民の工事車両迷惑</p> <p>(3) 市道宝塚池田線伊丹市境供用開始及び阪神競馬場馬場拡張工事完了後の交通渋滞</p> <p>4 市長発言の信憑性及び公私の区別について</p> <p>(1) 市会、県会、国会時代と市長との立場の違いの認識</p> <p>(2) 市長として答弁又は発言する際、夢を語ることについての認識</p> <p>(3) 発言した内容に対する、実行努力と結果責任について</p>
23	大島淡紅子 (一問一答式)	<p>1 宝塚市国民保護計画について</p> <p>(1) 宝塚市の地域性として、どのような点を主眼におき作成しているのか</p> <p>(2) 災害時要援護者と言われる人たちや女性・外国の人たちの視点を、計画にどのように反映するのか、協議会委員の人はどのように決定したのか</p> <p>(3) 市の国際平和への努力とは、また国が努力するよう働きかけは</p> <p>(4) 個人情報やプライバシーの確保と、報道の自由をどのように担保するか</p> <p>(5) 協力に対する個人の自由と強制についてどう考えるか</p>

(6) 避難時の混乱の予防と対処はどのようにするのか

(7) 計画（案）に対し寄せられた意見・提案の取り扱いは

2 子どもの水難事故について

(1) 池での事故について

(2) プールの安全について

3 『宝塚の教育改革』に『子ども市民を育てる』視点を

(1) 小・中でのキャリア教育

(2) 子ども条例

一問一答式の質問方法について

1 従来式の質問方法について

これまで採用していた方法は、まず最初に、質問者である議員が、あらかじめ通告しておいた発言事項のすべてを一括し1次質問として、市長・教育長・上下水道事業管理者等（以下「市長等」と言う。）に質問します。そして市長等が所管の回答事項を一括して1次答弁という形で答えます。

1次答弁に対し不明な点などもっと詳しく確認したいことがあれば、2次質問として1次質問と同様に確認したい事項のすべてを一括して質問します。これに対して、それぞれ所管の部長等（市長を答弁者に指名することも可能）が所管の回答事項を一括して2次答弁として答えます。さらに疑問の点などがあれば、これをあと1回（3次質問）まで繰り返すことができます。

2 一問一答式の質問方法について

今回（平成18年9月定例会）から、従来式に加えてこの一問一答式を採用することとしました。従来式との相違点は、1次質問・答弁に変更はありませんが、2次質問以降については個別の項目に絞って質問を展開することとなり、質問項目毎にそれぞれ所管の部長等（市長を答弁者に指名することも可能）から答弁を得ることとなります。

さらに質問時間内であれば、質問回数に制限はありません。

これにより、答弁者が質問者のどの質問項目に対して答えているのかわかりにくいという問題点等を改善することができるものと思われれます。

3 質問時間について

いずれの方式でも、質問する議員自身が必要と認めて質問通告の際に申告した時間です。ただし、最大でも90分以内となっています。